



2020年3月期 第2四半期決算説明会

2019年11月6日

JASDAQ: 6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<https://www.nichidai.jp/>

ネットシェイプ事業

◆金型◆

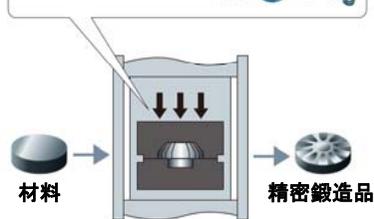
・金型生産、開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供。

◆精密鍛造品◆

・金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供。

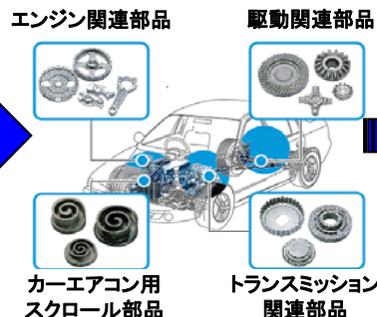
ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造

切削・加熱することなく一発で複雑な形状に加工



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産

(一部当社でも生産)



主に自動車産業

【金型】

・国内の全自動車メーカー系列企業。
・海外の自動車部品メーカーとの取引も増加。

【精密鍛造品】

・自動車部品メーカー
(主製品はスクロール鍛造品)

アッセンブリ事業

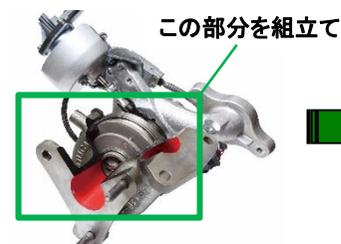
・ターボチャージャー部品の組立て。主力はVGターボチャージャー部品。

・国内およびタイ工場で組立て、顧客企業の現地調達ニーズに対応。



VGターボチャージャー部品

納入先メーカーでターボチャージャーの一部に組み込まれる



VGターボチャージャー

自動車産業

全世界の自動車メーカー

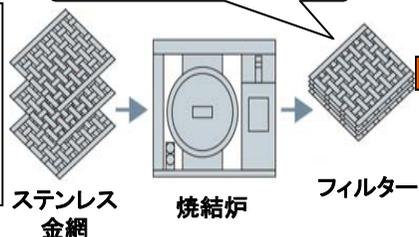
フィルタ事業

・複数のステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産。

・フィルターの洗浄・再生サービス。

独自の「拡散接合」技術を使ってフィルターを製造

微細で均一なる孔を実現



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



各種メーカー

石油、ガス、化学、
繊維、食品、
航空宇宙産業 など

ネットシェイプ事業

単独

ニチダイ (ND)

宇治田原工場



スクロール鍛造品



精密鍛造金型

- 精密鍛造金型の生産拠点。
- 約30名の開発人員を持つ。
- 鍛造プレスを保有。鍛造品の生産も行う。

アッセンブリ事業

京田辺工場



VGターボ
チャージャー部品



WGターボ
チャージャー部品

- 国内におけるターボチャージャー部品の生産拠点。
- 平成27年に宇治田原工場より京田辺工場に移転。

フィルタ事業

ニチダイフィルタ (NFC)

宇治田原工場



積層焼結金網
フィルター

- 国内の開発・生産拠点。
- 焼結炉を5基保有。

海外拠点

ニチダイ アジア (NDA)

- ◆タイに立地する金型販売拠点。

ニチダイ USA (NUC)

- ◆米国オハイオ州にある金型販売拠点。

ニチダイタイランド (NDT)

- ◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方におけるアジアの戦略拠点。

ネットシェイプ事業

- ・カーエアコン用スクロール部品の生産。
- ・精密鍛造金型の生産。

アッセンブリ事業

- ・ターボチャージャー部品の生産。

タイ・シタート・メッシュ (TSM)



- ◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地するフィルターの生産拠点。焼結炉を5基保有。

I .20/3期上半期実績

I .20/3期上半期実績 — P/L: 売上・利益の状況 —

- ▶ 計画は達成したものの、減収減益となる。
- ▶ 事業間で業績にばらつきが生じている状況。

単位: 百万円

	19/3 上半期実績 18/4-18/9	20/3 上半期計画 19/4-19/9	20/3 上半期実績 19/4-19/9	伸び率 (前年同期比)
売上高	8,400	7,800	7,925	△5.7%
売上総利益	1,783	1,600	1,651	△7.4%
販売管理費	1,130	1,160	1,145	1.3%
営業利益	652	440	505	△22.4%
営業外損益	△14	0	△20	—
経常利益	666	440	526	△21.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	440	300	349	△20.7%

* 百万円未満切り捨て

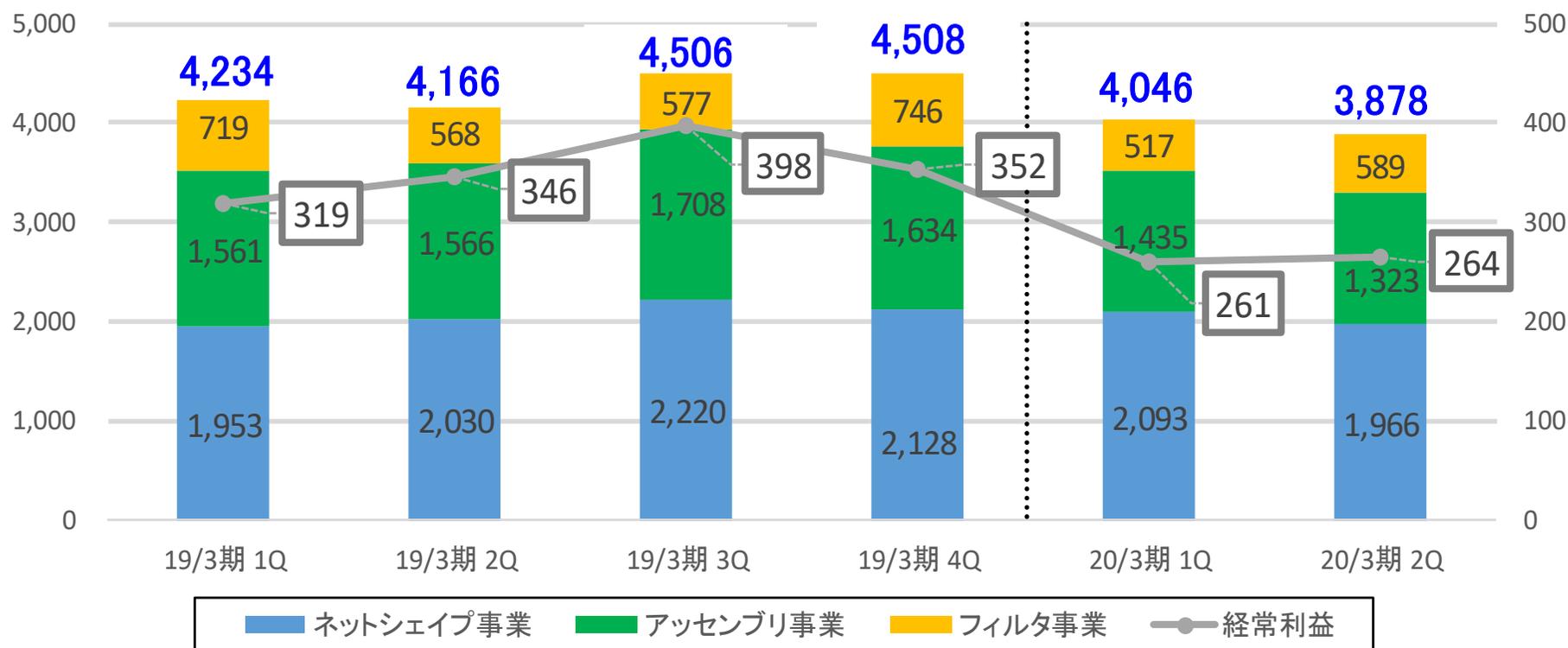
為替レート	19/3 上半期実績	20/3 上半期計画	20/3 上半期実績
米ドル	109.17円	110円	110.11円
タイバーツ	3.42円	3.4円	3.48円

I .20/3期上半期実績 — 四半期別業績推移 —

- 第2四半期に入り、ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の売上高が減少。
- フィルタ事業は好調を維持。
- 経常利益は1Q、2Qともに同水準で推移。前年を下回る水準になっている状況。

売上高(左軸)
単位:百万円

経常利益(右軸)
単位:百万円



* 百万円未満切り捨て

I .20/3期上半期実績 — 事業別売上高の状況 —

単位:百万円

	19/3 上半期実績 18/4-18/9	20/3 上半期実績 19/4-19/9	伸び率 (前年同期比)
ネットシェイプ	3,983	4,059	1.9%
アッセンブリ	3,127	2,759	△11.8%
フィルタ	1,288	1,106	△14.1%
連結計	8,400	7,925	△5.7%

ネットシェイプ事業

- 金型部門が好調に推移。
- 精密鍛造品部門は減少。

アッセンブリ事業

- WGターボチャージャー部品が減少。
- VGターボチャージャー部品に関しても、前年下半期の勢いがいない状況。

フィルタ事業

- 前年は電力産業向けの特需売上高を含む。
- 他の主ユーザー向けや海外向けの売上高は増加。

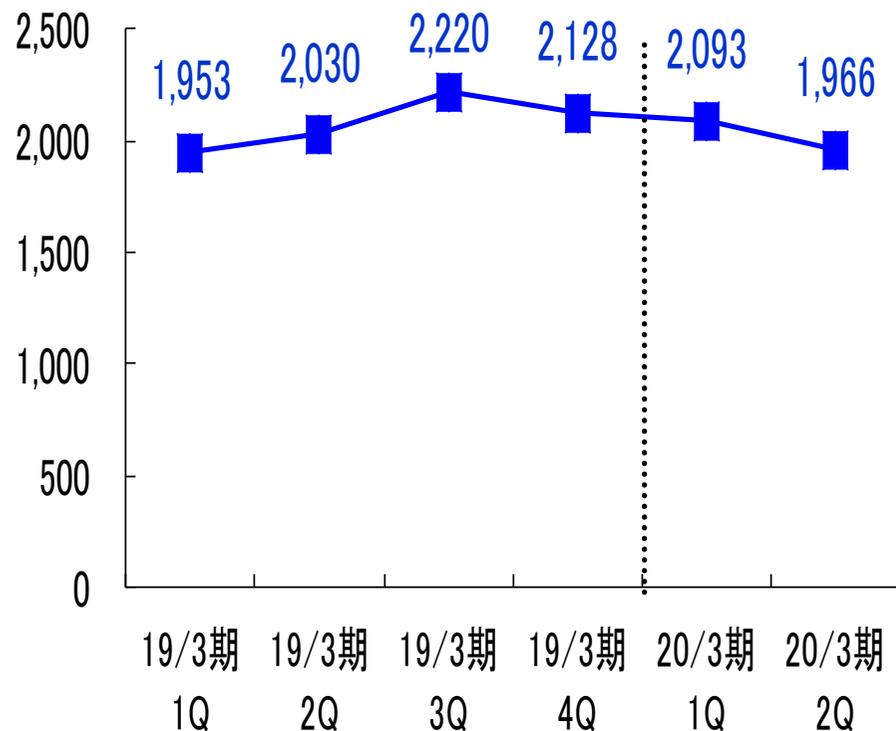
* 百万円未満切り捨て。

I .20/3期上半期実績 — ネットシェイプ事業概況 —

- 金型部門：国内は前年とほぼ同水準で推移。海外売上高が増加。
- 精密鍛造品部門：米中貿易摩擦の影響等により、スクロール鍛造品が国内外で減少。

ネットシェイプ事業売上高推移

単位：百万円



国内外別売上高推移

単位：百万円

	18/9 実績	19/9 実績	伸び率 (前年同期比)
国内	2,841	2,693	△5.2%
海外	1,142	1,366	19.6%
総合計	3,983	4,059	1.9%

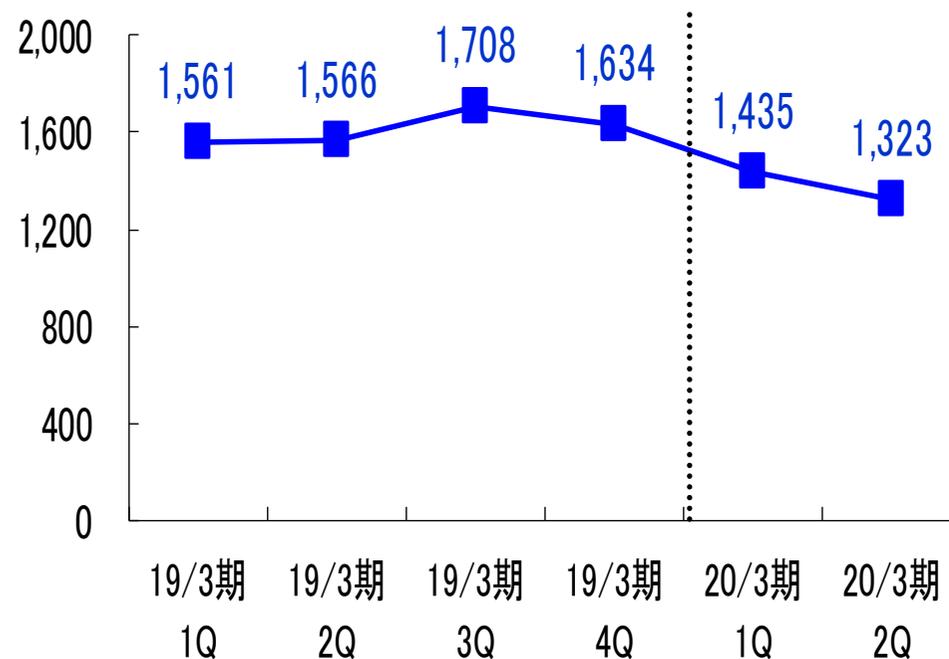
* 百万円未満切り捨て。

I .20/3期上半期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- ▶ 主に海外の売上が減少。
- ▶ WGターボチャージャー部品の売上が減少要因。

アッセンブリ事業売上高推移

単位：百万円



国内外別売上高推移

単位：百万円

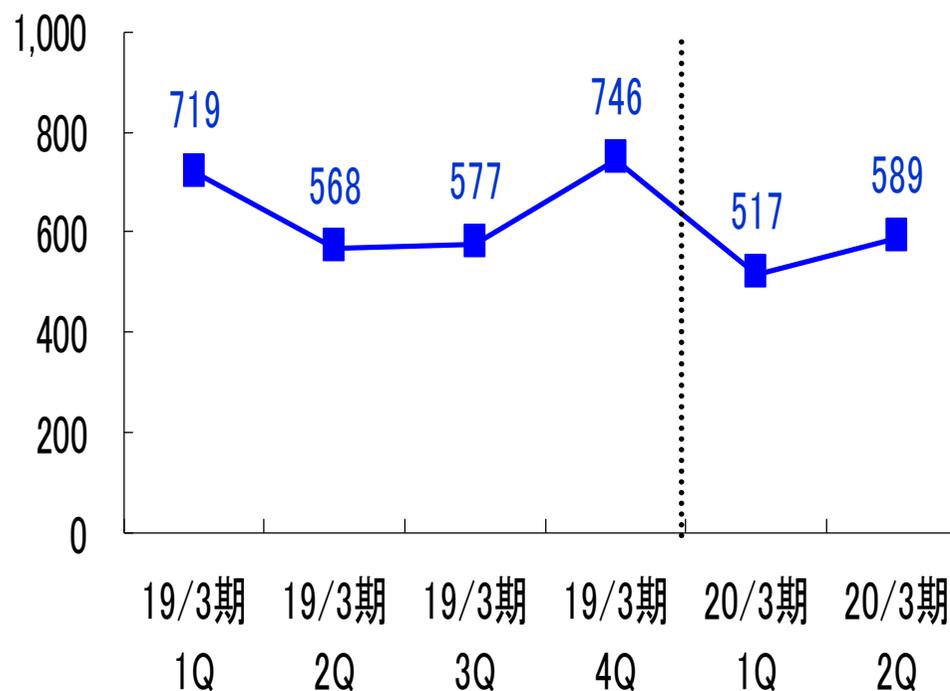
	18/9 実績	19/9 実績	伸び率 (前年同期比)
国内	1,518	1,450	△4.4%
海外	1,609	1,308	△18.7%
総合計	3,127	2,759	△11.8%

* 百万円未満切り捨て。

- ▶ 前年1Qに電力産業向けの特需案件があったため、国内売上高が減少。
- ▶ 他の主力ユーザー向けの売上高は増加。
- ▶ 海外は、アジア向けの売上高が増加。

フィルタ事業売上高推移

単位:百万円



国内外別売上高推移

単位:百万円

	18/9 実績	19/9 実績	伸び率 (前年同期比)
国内	1,067	847	△20.6%
海外	221	259	17.2%
総合計	1,288	1,106	△14.1%

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	18/9 売上高	経常 利益	利益率	19/9 売上高	経常 利益	利益率
ネットシェイプ	3,983	388	9.8%	4,059	302	7.4%
アッセンブリ	3,127	165	5.3%	2,759	84	3.0%
フィルタ	1,288	111	8.7%	1,106	139	12.6%
連結計	8,400	666	7.9%	7,925	526	6.6%

ネットシェイプ事業

➤精密鍛造品部門の低迷により、減益となる。

アッセンブリ事業

➤WGターボチャージャー部品の売上高減少による。

フィルタ事業

➤製品構成の変化に伴い、増益となる。

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	18/9 実績	比率	19/9 実績	比率
売上高	8,400	100.0%	7,925	100.0%
材料費	2,941	35.0%	2,641	33.3%
製品仕入	593	7.1%	428	5.4%
外注加工費	804	9.6%	717	9.1%
補助材料費	237	2.8%	234	3.0%
人件費	1,340	16.0%	1,397	17.6%
減価償却費	363	4.3%	362	4.6%
在庫増減	31	0.4%	△125	△1.6%
その他	368	4.4%	367	4.6%
売上原価	6,617	78.8%	6,274	79.2%
売上総利益	1,783	21.2%	1,651	20.8%

材料費

➤ 事業別の売上高構成比
変化に伴う。

在庫増減

➤ ネットシェイプ事業の
金型部門における減少。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	18/9 実績	比率	19/9 実績	比率
売上高	8,400	100.0%	7,925	100.0%
荷造・運賃	92	1.1%	96	1.2%
旅費交通費	65	0.8%	62	0.8%
人件費	558	6.6%	545	6.9%
減価償却費	64	0.8%	57	0.7%
賃借料	29	0.4%	30	0.4%
その他	320	3.8%	354	4.5%
販売・管理費	1,130	13.5%	1,145	14.5%

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	18/9 実績	19/3 実績	19/9 実績	増減
現金預金	2,827	2,798	3,820	1,021
売上債権	4,378	4,944	3,873	△1,071
たな卸資産	2,140	2,270	2,040	△230
その他	135	93	67	△25
貸倒引当金	△1	0	0	0
流動資産計	9,480	10,107	9,801	△305
有形固定資産	6,567	6,409	6,505	96
無形固定資産	207	344	395	51
投資その他の資産	362	321	347	25
固定資産計	7,137	7,076	7,249	173
資産合計	16,617	17,183	17,050	△132

売上債権、たな卸資産
の減少
➤ 売上高減少に伴う。

* 百万円未満切り捨て。

* 増減は、19/3実績と19/9実績との差

I .20/3期上半期実績 — B/S:負債・純資産の状況 —

単位:百万円

	18/9 実績	19/3 実績	19/9 実績	増減
買掛金	1,766	1,905	1,435	△469
短期借入金	1,402	1,416	1,048	△368
未払法人税等	222	247	178	△69
賞与引当金	320	155	299	143
その他	749	794	840	45
流動負債計	4,461	4,519	3,801	△718
長期借入金	604	577	808	231
その他	65	48	39	△9
固定負債計	669	625	847	222
負債計	5,130	5,145	4,649	△496
資本金	1,429	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	1,192	0
利益剰余金	7,635	8,072	8,286	213
非支配株主持分	1,063	1,125	1,189	63
その他	166	216	303	86
純資産計	11,487	12,037	12,401	363
負債・純資産合計	16,617	17,183	17,050	△132

* 百万円未満切り捨て。

* 増減は、19/3実績と19/9実績との差

単位：百万円

	18/9	19/9	増減
営業活動によるCF	798	1,500	702
投資活動によるCF	△431	△399	31
財務活動によるCF	△261	△293	△32
現金及び現金同等物増減額	52	846	793
現金及び現金同等物の期首残高	2,665	2,689	23
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,718	3,535	817
FCF	366	1,101	734

営業活動によるCF
売上債権の減少
1,100百万円

たな卸資産の減少
246百万円

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ. 20/3期通期見込

Ⅱ.20/3期通期見込 — P/L:売上・利益の状況 —

- ▶ 下半期については、引き続き米中貿易摩擦等の影響による
世界自動車市場停滞の影響を見込む。

単位:百万円

	19/3 通期実績 18/4-19/3	20/3 通期計画 19/4-20/3 (19年5月発表)	伸び率 (前年同期比)
売上高	17,416	15,500	△11.0%
売上総利益	3,753	3,290	△12.4%
販売管理費	2,366	2,290	△3.2%
営業利益	1,387	1,000	△27.9%
営業外損益	△29	0	—
経常利益	1,417	1,000	△29.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	968	660	△31.8%

* 百万円未満切り捨て。

為替レート	19/3 実績	20/3 計画
米ドル	110.58円	110円
タイバーツ	3.42円	3.4円

単位:百万円

	19/3 通期実績 18/4-19/3	20/3 通期計画 19/4-20/3 (19年5月発表)	伸び率 (前年同期比)
ネットシェイプ	8,332	7,840	△5.9%
アッセンブリ	6,471	5,440	△15.9%
フィルタ	2,611	2,220	△15.0%
連結計	17,416	15,500	△11.0%

ネットシェイプ事業

- 金型部門、精密鍛造品部門ともに、世界自動車市場停滞の影響が生じる見込み。

アッセンブリ事業

- ネットシェイプ事業同様、自動車市場停滞の影響を見込む。

フィルタ事業

- 前期にあった特需がなく減収を見込む。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	計画
設備投資額	1,290	1,313	774	966	434	771	1,530
減価償却費	764	879	970	793	860	853	860

* 百万円未満切り捨て。

	第2四半期	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
16年3月期	10.00	10.00	20.00
17年3月期	10.00	10.00	20.00
18年3月期	8.00	10.00 (普通配当8.00) (特別配当2.00)	18.00 (普通配当16.00) (特別配当2.00)
19年3月期	10.00	15.00 (普通配当10.00) (特別配当5.00)	25.00 (普通配当20.00) (特別配当5.00)
20年3月期(予想)	10.00	10.00(予想)	20.00(予想)

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp

中期経営戦略の内容

基本戦略

挑戦1 既存事業強靱化への挑戦

他社の追随を許さない技術力の構築

- ニッチトップへの取組み
- シナジーを活用した独自技術の進化と構築

さらなるQDCの改善

- 各種KPIの達成
- 原価低減の着実な取組み

挑戦2 次世代への挑戦

海外事業のさらなる進化

- 海外比率拡大
- さらなる海外拠点の強化

新規事業の立ち上げ

- 次世代自動車への対応
- 社内シーズの活用

人事・制度戦略

挑戦3 働きがいのある職場への挑戦

自己実現を果たせる環境

- 挑戦を歓迎する仕組み
- 成長を描ける仕組み

働きやすさの充実

- 働き方改革
- コミュニケーション改革

	テーマ (挑戦)	2020年3月期 上半期の状況	2020年3月期 見通し
既存事業強靱化 への挑戦	他社の追随を許さない技術力の構築 ・ニッチトップへの取組 ・シナジーを活用した独自技術の進化	ネットシェイプ事業 低荷重ヘリカルギアの開発。 フィルタ事業 ヘルスケア製品向けの新用途開拓の推進。	現状の開発活動の継続。
	さらなるQDCの改善 ・各種KPIの達成 ・原価低減の着実な取り組み	アッセンブリ事業 自動化ライン導入に伴う、生産効率向上策を進める。 フィルタ事業 量産品の原価低減策を進める。	米中貿易摩擦の影響等により、ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業が低水準で推移する見込み。 各事業で、引き続きQDC改善策を継続。
次世代 への挑戦	海外事業のさらなる進化 ・海外比率拡大 ・さらなる海外拠点の強化	ネットシェイプ事業： 金型部門でアジア地域向け売上高が増加。 引き続きアジア戦略を推進。	各事業で持つ拠点を活用した海外戦略を継続。
	新規事業の立ち上げ ・次世代自動車への対応 ・社内シーズの活用	ネットシェイプ事業 新規開発を積極推進。 圧延工法と鍛造を組み合わせ。電池ケースを想定。 フィルタ事業 従来から進めてきたMM触媒の用途開発を継続。	厳しい状況のなか、ネットシェイプ事業、フィルタ事業では開発を鋭意進めていく予定。